



2018 年 7 月 30 日

第 14 回 Audi Twin Cup World Championship、 日本代表チームが優勝（サービス部門）

- **Audi 熊本：大磧 数敏、Audi 箕面：荒井 和樹、Audi 足立：安岡 章雄の 3 名がサービス部門で優勝**

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は、2018 年 7 月 26 日（木）・27 日（金）両日、オーストリアのザールフェルデンで開催された「第 14 回 Audi Twin Cup World Championship（アウディ ツイン カップ ワールド チャンピオンシップ）」において、日本代表チームがサービス部門において優勝を果たしたことを発表します。

Audi Twin Cup は、アウディ正規ディーラーのサービス品質向上を目的とした技能コンテストで、現在、全国に 126 店舗あるアウディ正規ディーラーのすべてのテクニシャンおよびサービスアドバイザーを対象に実施するものです。テクノロジーとサービスの 2 つの部門別に行われ、ツインカップという名称もそれに由来、全世界で毎年開催しています。各国の優勝チームは、その国の代表としてワールドチャンピオンシップに出場し、アウディサービス世界一の座を競います。今年は 34 カ国から 67 チームが参加しました。

今年 2 月に開催された日本大会では、テクノロジー部門 12 チーム（36 名）、およびサービス部門 12 チーム（12 名）が出場。テクノロジー部門優勝の Audi 高松と、サービス部門 1～3 位の 3 名が、日本代表チームとして、このたび開催された第 14 回 Audi Twin Cup World Championship への切符を手に入れました。

日本代表チームは日本大会以降、5 か月間、5 回に渡る強化トレーニングで知識、技能を高め、チームワークを強化して決勝戦に臨みました。強化トレーニングにおいては、世界大会で出される課題を想定した実践的な訓練を積み重ねました。また、外国人審査員との言葉の壁を超えるための英語のトレーニングも実施しました。

今回の入賞により、日本の Audi 販売店のサービス技術の高さを世界に示すことができました。日本が前回入賞したのは、2017 年 9 月にスペインで開催された「第 13 回 Audi Twin Cup World Championship」で、世界 33 カ国、65 チームの中からサービス部門並びにテクノロジー部門の両部門において 3 位入賞を遂げています。

第 14 回 Audi Twin Cup World Championship の入賞国は以下の通りです。

<テクノロジー部門>

1 位 スロバキア、2 位 インド、3 位 オーストラリア

<サービス部門>

1 位 日本、2 位 ロシア、3 位 イギリス

<ツイン部門（総合）>

1 位 フランス、2 位 スイス、3 位 アメリカ

<日本代表チームメンバー>

テクノロジー部門：Audi 高松（川東 敦彦、岸 秀明、池田 将道）

サービス部門：Audi 熊本（大磧 数敏）、Audi 箕面（荒井 和樹）、Audi 足立（安岡 章雄）